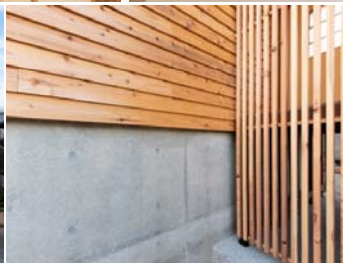
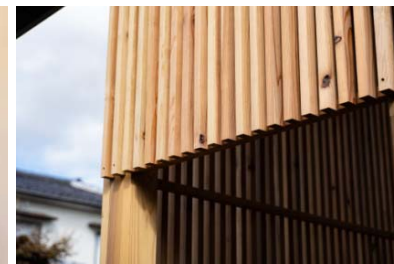


新潟の木と生きる家。



1. [「森や木」への想い]

「新潟は川のおかげで発展してきた。そして、川が綺麗なのは山のお陰である。」という言葉に共感し、県産杉の積極的活用に取り組んでいる。
伐採適齢期を過ぎた多くの杉が山に残されており、それらが放置されることで山が荒れ、地滑りが起こりやすくなる。災害を防ぎ、輸送エネルギーを抑えるという社会的意義があることから、今後も県産杉の活用を進めていきたい。
今回の建築では、杉の質感や肌触りを楽しめるように、主に内部の造作家具、外壁材に県産杉を使用した。

2. [「地域」への想い]

板張りの街並みは日本古来のもの。地元の杉でつくられる美しい風景を未来へつないでいきたい。
近年、新建材外壁が使われることが多いが、それにより板張りの技術継承が途切れることにも危機感を持っている。
また「木の外壁は腐りやすい」という誤解が広がっているが杉板はメンテナンスフリーで耐久性が高く、山に杉がある限り同じ材料を入手できる。そんな身近な資源である杉の活用を体現し、啓蒙していきたい。

3. [「建築」への想い]

外壁の杉板は横張り縦張りルーバーの2種類で仕上げされており、ポーチ周りにも目隠しのルーバーを設けることでリズムと表情をつくり出した。杉板は水に強いが、常に水にあたる環境では腐朽しやすくなる。それを避けるために高基礎とし、地表で跳ね返る雨水を受けないようにしている。
内部では、食器棚、本棚、飾り棚等に県産杉集成材を使用。子ども部屋のロフトベッドにも使っており、木の香りに包まれながら眠ることができる。

延床面積 : 82.86㎡ (25坪)
UA値 : 0.27
C値(中間) : 0.2
耐震等級 : 等級3 (積雪1.3m)
外壁 : 新潟県産杉 (無塗装)

